



Child Family Consultant

アドバンスコース第3回



NPO法人
子育て学協会

イントロダクション



CFCを学ぶルール

1. 事前資料には目を通し、課題は行ったうえで参加する
2. 主体的に行動し、積極的に関わる態度を忘れない
3. 参加者がお互いに学ぶ姿勢を持っていることを尊ぶ
4. 時間を守る

イントロダクション



講座の中の共有・議論への取り組み方

<話す>

- ・限られた時間の中で、自分が話す配分を心がける
- ・話したくないことは無理に話さないで良い

<聞く>

- ・話をさえぎって途中で口は挟まず、最後まで聞く
- ・相手が気持ちよく話せるような聞き方を心がける
- ・違う意見や違う視点、他の人の意見を一つの意見として肯定的に受け止める

イントロダクション



本日のスライドは配布版を
ホームページ上で公開しています。

講座中はテキストに自身で
「ポイントと思うこと」「気づき」などを
積極的にメモを取ってください。

本日のタイムスケジュール



イントロダクション	9:30～ 9:40
1. 事前課題のディスカッション	9:40～10:40
2. 保護者とのコミュニケーション	10:50～12:40
(お昼休憩60分)	
3. 保護者の状況把握	13:40～14:05
4. 家族の関係理解	15:05～16:20
5. まとめ・事後課題・アンケート	

※約1時間に一回休憩があります

1. 事前課題

事前課題①

ナレッジDBに目を通し、そのQ&Aで理由や背景など分からないものがあれば、いくつかをピックアップし、自分自身でも調べて自分なりの解答を作成してみてください。

- 課題の共有・ディスカッション 40分
- 質問・アドバイス



(休憩10分)

本日のタイムスケジュール



イントロダクション	9:30～ 9:40
1. 事前課題のディスカッション	9:40～10:40
2. 保護者とのコミュニケーション	10:50～12:40
(お昼休憩60分)	
3. 保護者の状況把握	13:40～15:05
4. 家族の関係理解	15:05～16:20
5. まとめ・事後課題・アンケート	

※約1時間に一回休憩があります

2. 保護者とのコミュニケーション



履修ゴール

保護者との信頼関係を築くためのコミュニケーション
について理解する

○信頼関係を築くためにコミュニケーションの基本を知る

○子育て相談における相談者の真意を考える

2. 保護者とのコミュニケーション



2-1. 子どもを把握する上での心構え

①子どもの（親の）周りの人的環境、物的環境に目を向ける

②「今こういう状態にある」という事実を正しく理解することに努め、
良い悪いの評価はしない

③100人100通り、1人として同じ子どもはいないので、
過去の経験や知識による、決めつけはしない

保護者も大きな子ども、保護者も子どもも
愛でべき存在であると意識する

2. 保護者とのコミュニケーション



2-2. 相談者の心情理解

<ワーク> 子育て相談に来る方の気持ちを想像して記入ください。

1. ここに来る前はどんな気持ちだったのでしょうか？

ママ編 ①専門家の意見が聞きたい ②もっとパパにも考えて欲しい ③あまり期待はしていない ④その他

()

パパ編 ①専門家の意見が聞きたい ②何で行くのか分からないが仕方なく ③不納得 ④その他

()

2. 来る道すがらどんな会話をしていたかを想像してみてください

3. 帰り道ではどんな会話をされていて欲しいですか？



2. 保護者とのコミュニケーション



2-2. 相談者の心情理解

個人で記入した内容をグループで共有し、子育て相談を受けるCFCとして大切なことは何か、ディスカッションしてください。

2. 保護者とのコミュニケーション



2-2. 相談者の心情理解

心情理解をする上で大切なこと

感情的に抱えて
いることを分
かって欲しい。

共感

目の前で話される
相談内容

具体的に何をす
ればいいのかを知
りたい。

理由と解決策



夫婦のそれぞれが求めていることが異なることを前提に
子育て相談 = 子育てのために家族を整えることに向かい合ってもらおう

2. 保護者とのコミュニケーション



2-2. 相談者の心情理解

相談者の期待

○一緒に考えるスタンス
家族のプロセス（経過や過程）の問題を一緒に整理し、
変化させた方がいいことを一緒に考えて欲しい

相談者の期待を裏切るもの

- 決めつけ
- 正解を求める姿勢

2. 保護者とのコミュニケーション



2-3. コミュニケーションの基本

共感のスキル

相手の話（相手が話したいこと）を聴く為に大切な3要素
（アクティブリスニングの3要素）

あいづち うなずき くりかえし（言葉・感情）
興味関心を持っていることを表すことで相手の話を引き出す

1つ上のスキル：ペーシング（速さを合わせる）とミラーリング（表情を真似る）

コミュニケーションで大切なこと

フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーションが基本

言語 % + 音声 % + 身体 % = 合計 100 %

何を話すかよりも、どう伝えるかが重要
言葉だけではなく体全体で伝える意識が重要
= 見られている自分に自覚的になる

2. 保護者とのコミュニケーション



2-3. コミュニケーションの基本

ワーク：認知「指さし確認」

(手順)

- 1) 2人1組になります。1人が3種のワークを行い、その後役割を変更してもう1人の方が行います。
- 2) 1回目は相手について見えるものを「名詞」で指さし確認をします。
- 3) 2回目は目に見えることを「客観的な形容詞」+「名詞」で伝えます。
- 4) 3回目は「主観的なポジティブな形容詞」+「名詞」で伝えます。
- 5) 交代し、同じ手順で指さし確認をします。

主観的なポジティブな一言のフィードバックは相手の存在を認め
好感を伝えるメッセージになる

2. 保護者とのコミュニケーション



2-3. コミュニケーションの基本

ワーク：Yes And 「プレゼント」

(手順)

1. 2人組みになります。AさんBさんを決めてください。
2. これから行うのは即興演劇です。想定していない相手の話を受け止めて話しを広げていきます。
3. プレゼントを渡す人は「はい、プレゼント」と動作をつけて渡してください。
4. 受け取った人は「ありがとう。○○な××だね。」と形容詞+名詞でプレゼントを想定してください。
5. 渡した人は「そう、○○な××なの。」「これって△△なんだよ」
その後「△△なの・・・★★に使うと楽しそうだね」
「★★に使うのも面白いね、あれ使ってみたら■ ■になっちゃった」
「■ ■になったんだ～…」

上記4.～5.を繰り返してください。

※質問禁止、相手の言葉を肯定的に受け止めて「Yes And」で膨らませてください

問題解決をしようと頭の中が働くと、自分の興味関心に会話を誘導します。
相手から出てきた言葉を大切に肯定的に受け止めていく意識を忘れずに。



(休憩10分)

2. 保護者とのコミュニケーション



2-3. コミュニケーションの基本

「不安」を「安心」に

相談者は初めて会ったCFCをどんな人か確認しています

- 相手に対してこちらが好意的な気持ちで接する
- 相手のいかなる発信も受け止める準備をしていると伝える
- 自分自身を包み隠さず、自然体でいる

「不信」を「信用」、そして「信頼」に

言葉で出てくる相談内容は、多くの場合本当に欲している目的を表面的に表した「情報」です

- 「相談者が言葉にせずに（できずに）いる本当の望み（目的）」は、何らかの「感情」を満たすことでもあります。その感情に注目する
 - 気持ちの奥を汲み取ることで、自分の強い味方だと感じてもらう
- 相談者の「本当の望み」に興味を持ち、知りたいと思う姿勢が大切

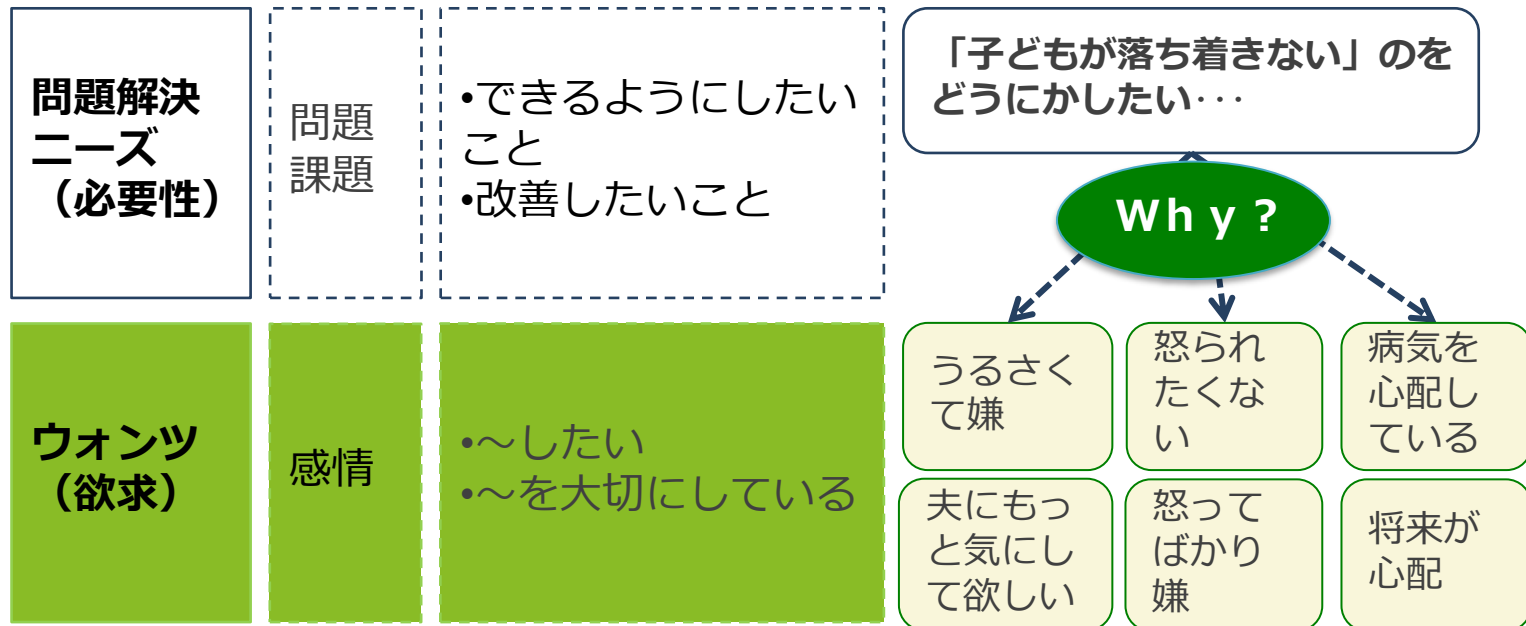
2. 保護者とのコミュニケーション

2-4. 相談者の真意を汲み取る

■ 相談者の「本当の望み」 = 「シークレット・ウォンツ」とは？

言葉で伝えていない「真意」のこと。

「問題解決」 = 直接的な相談内容が満たされたい“要件（情報）”だとすれば、「ウォンツ」は満たされたい“感情”。



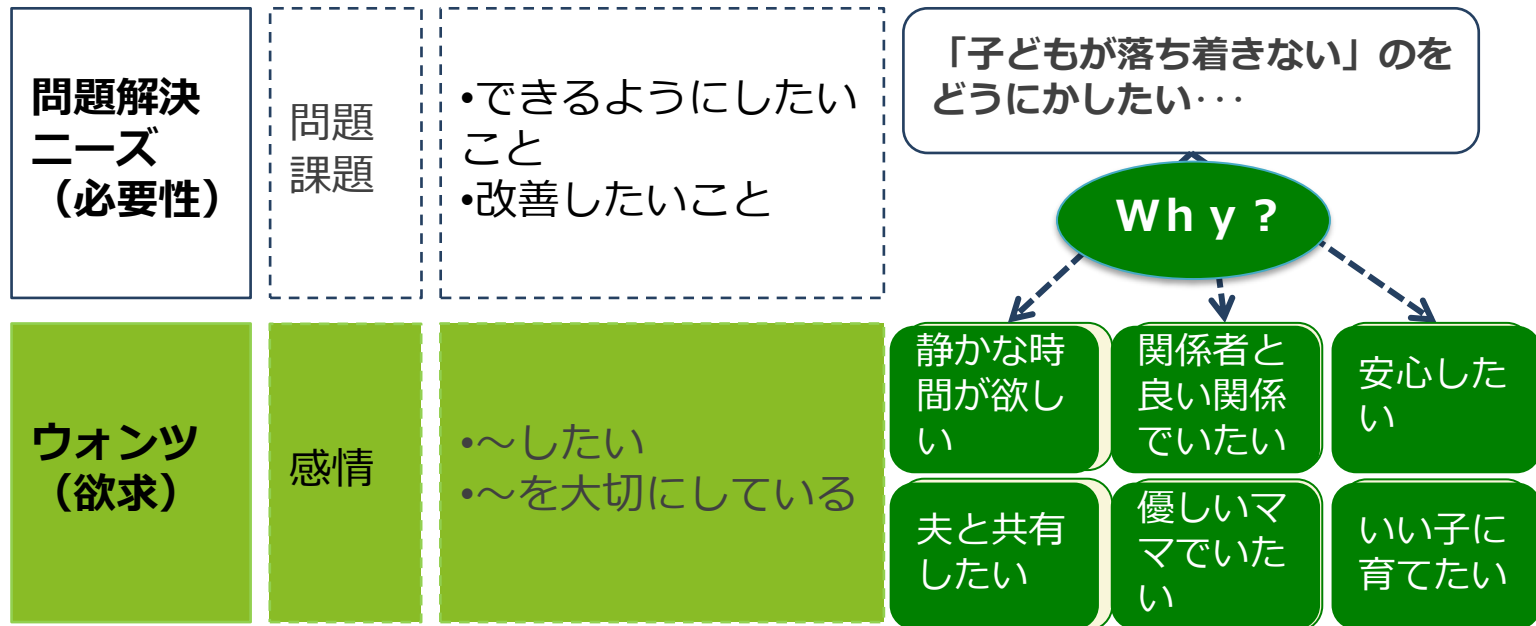
2. 保護者とのコミュニケーション

2-4. 相談者の真意を汲み取る

■ 相談者の「本当の望み」 = 「シークレット・ウォンツ」とは？

言葉で伝えていない「真意」のこと。

「問題解決」 = 直接的な相談内容が満たされたい“要件（情報）”だとすれば、「ウォンツ」は満たされたい“感情”。



2. 保護者とのコミュニケーション



2-4. 相談者の真意を汲み取る

■相談者の「本当の望み」 = 「シークレット・ウォンツ」とは？

「シークレット・ウォンツ」の種類

- 1) 本当は気づいて欲しい
- 2) 気づいて欲しくない
- 3) 自分でも気づいていない

「シークレット・ウォンツ」を感じ取るためのシグナル

- 声（トーン、速度、間、大きさ、抑揚）
- 目（視線、瞬き、大きさ、瞳孔の開き方、潤い、周囲の筋肉の緊張度、動き等）
- 姿勢（背筋の伸縮、肩の緊張度、首の傾き、手の位置／開閉、腕／脚の組み方等）
- 身体の動き（身振り手振り／呼吸、またはそれらの変化 等）
- 言い回し（繰り返し、指示語の多用、婉曲的な否定／要望 等）
- 話の文脈（矛盾した展開、理由づけの多い展開、結論を急ぐ展開 等）

2. 保護者とのコミュニケーション



2-4. 相談者の真意を汲み取る

■相談者の「本当の望み」 = 「シークレット・ウォンツ」とは？

「シークレット・ウォンツ」を感じ取ることの効用

- 1) 相談者の本当の目的（真意／感情）に沿った適切な提案ができる
- 2) 相談者の信用／信頼を得ることができる
- 3) 相談者の満足度が高まり、家族に変化を与えることができる

「シークレット・ウォンツ」を感じなくさせる原因

相手の評価／組織での評価／生活の安定の確保／家族からの評価 など
「評価／報酬」にまつわるプレッシャーや恐怖
※誰にでもあるものです。原因を無くすのではなく、感じていることを気づくことが重要

「シークレット・ウォンツ」を感じられない時の対処法

相談者とその家族に意識を集中させる
自分が学んだ目的などを振り返る

2. 保護者とのコミュニケーション



2-5. 子育て相談のコミュニケーション



シークレットウォンツを満たすことで得られるもの

- 信頼感
- 高い満足感
- 高い成果

継続可能なコミュニケーションに繋がる



子育ての問題

子ども保護者の状況把握

CFCの考え方の軸に照らし

シークレットウォンツを満たす方法で

課題設定
解決

2. 保護者とのコミュニケーション



2-5. 子育て相談のコミュニケーション

子どもについての相談



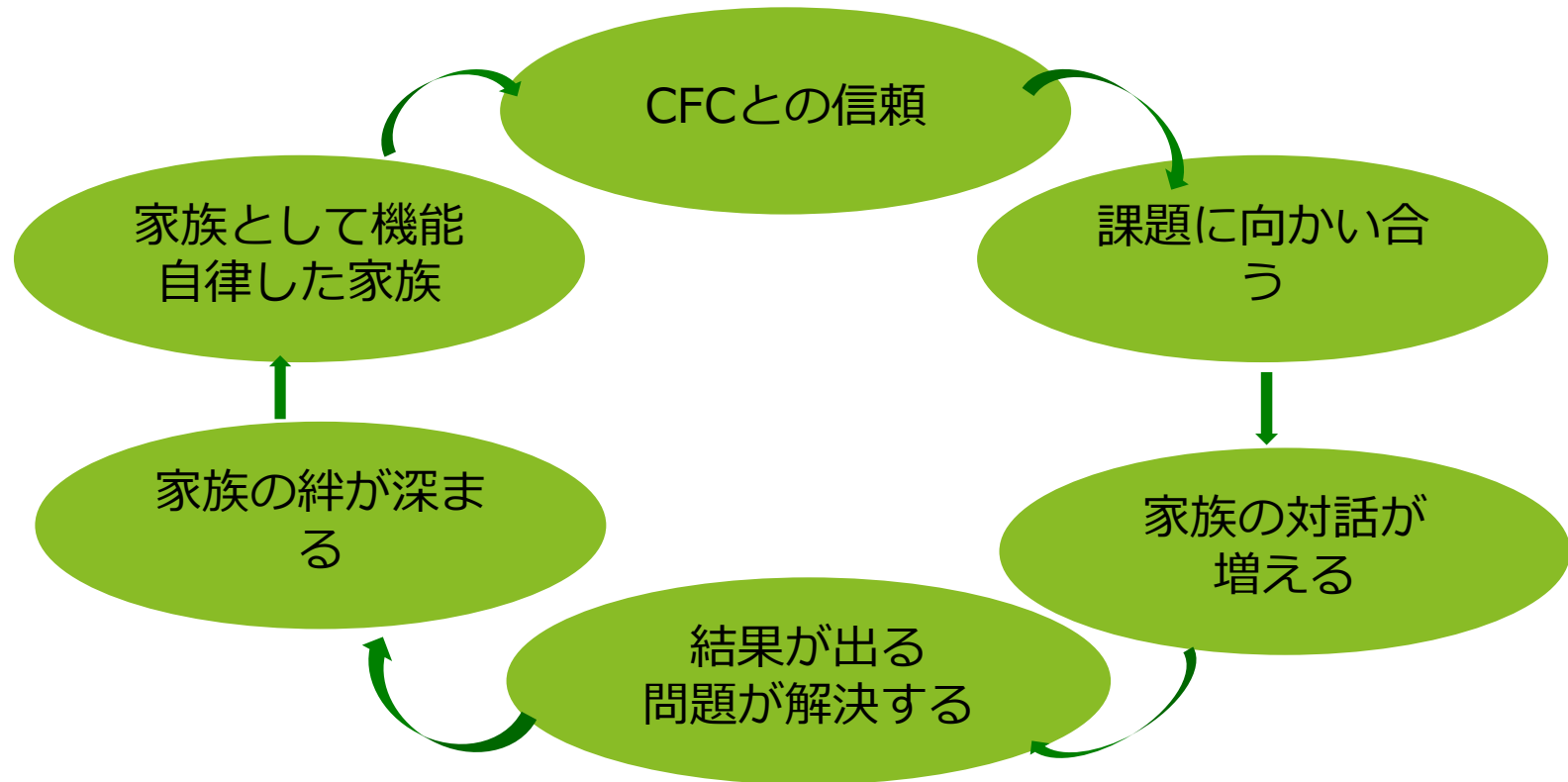
育ち合いの支援

子育てを通じたファミリービルディング

2. 保護者とのコミュニケーション



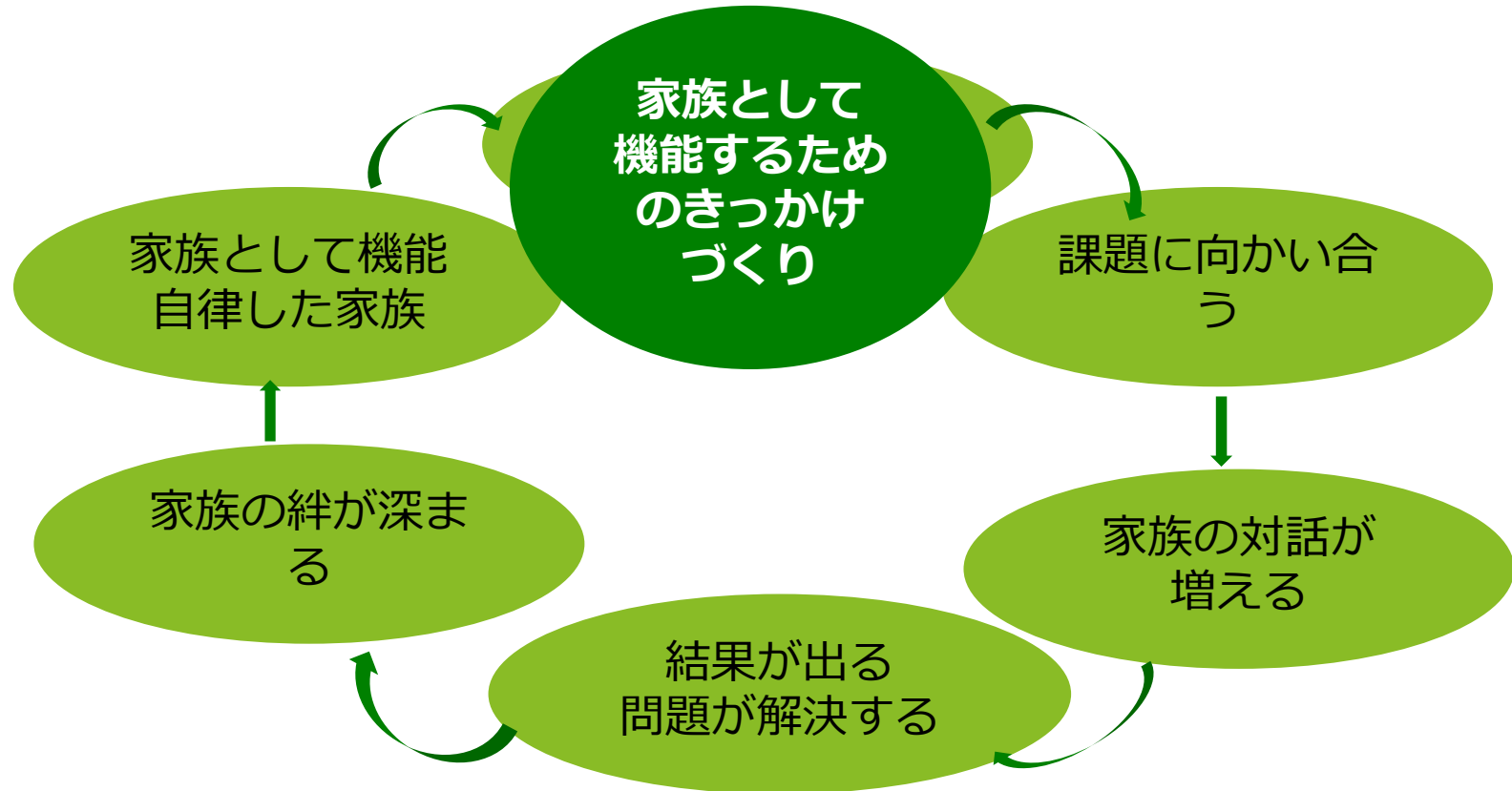
2-5. 子育て相談のコミュニケーション



2. 保護者とのコミュニケーション



2-5. 子育て相談のコミュニケーション



幼児期に取り組むことの意味は大きい

今取り組むことで人生が豊かに・子どもに良い影響を与えられる



(お昼休憩60分)

本日のタイムスケジュール



イントロダクション	9:30～ 9:40
1. 事前課題のディスカッション	9:40～10:40
2. 保護者とのコミュニケーション	10:50～12:40
(お昼休憩60分)	
3. 保護者の状況把握	13:40～15:05
4. 家族の関係理解	15:05～16:20
5. まとめ・事後課題・アンケート	

※約1時間に一回休憩があります

3. 保護者の状況把握



履修ゴール

保護者へのヒアリングの観点とポイントについて理解する

○保護者の徳性を探り課題設定に活かす

○価値観や考え方を引き出す質問

3. 保護者の状況把握

3-1. 保護者へのヒアリングで把握すること

①保護者の考え方

子どもに合わせる OR 自分がコントロールしたい

②生活習慣

リズムが不安定 OR きっちりしすぎ

③子どもの認識 子どもの成長・発達状況の捉え方

関心が低い OR 心配しすぎ

それぞれの強弱を理解する

弱い (不足)

ほどほど

高い (しすぎ)



3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

本人のOPEN情報を手元に置いて適宜参考にしながら確認します。

本人情報	
氏名	
生年月日	
在園名	
参加している教育機関	
本人の状況	いつもは何と呼ばれていますか ()
	いつも誰と遊びますか 一人・お父さん・お母さん・祖父母・兄弟・友達・その他 ()
	友達は大勢いますか いない ・ 少しいる ・ 大勢いる
	好きな遊び
	食べ物の好き嫌い ない ある 好きなもの () 嫌いなもの ()
	親から見た本人の特徴
身体状況	出産時の体重：約 g 既往症
	出産時期： 普通 ・ 早産 ・ 遅かった かかりやすい病気
	出産状況： 正常 異常 () アレルギーの有無 有 ()
	発語： 歳 ヶ月頃 無
	歩き始めた年齢： 歳 ヶ月頃
	今までにした大きなケガ

家族情報					
家族構成	続柄	氏名	生年月日 (年齢)	最終卒業校	会社名・職業・学年
	子育て相談の目的又は受けようと思ったきっかけ				
	住所	〒			
	電話	電話	母携帯	父携帯	
	Mail	母Mail	父Mail		
	子育て相談への同意	NPO法人子育て学協会 代表理事 山本 直美殿 個人情報取り扱いの同意について 下記内容を確認の上同意いたします。 署名 1. 個人情報の利用目的について 収集した個人情報は、本人の許可なく雇用管理の基礎資料その他当社で必要とされる作業の範囲内以外の目的では使用しません。 2. 個人情報の第三者提供について 収集した個人情報は、委託業務、法律上公的機関への届出・提出が必要な場合、事故等での緊急時を除いて第三者へ提供しません。 3. 個人情報の開示等について 収集した個人情報の開示、内容の訂正、追加、削除の求めがあった場合には、すみやかに対応します。			

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ ママ編

- ・ 子育てで悩んでいるようなことはありますか？

出てくる答え	確認ポイント
<p>早く寝てくれない</p>	<p>○確認ポイント＝生活の乱れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親が早く寝ているか・・・自分自身の楽しい時間が夜にあり、その快動を子どもに合わせてやめない。 ・ パパの帰宅時間・・・パパが帰って来て、子どもを寝かせない ・ 子どもの感受性・・・情報の吸収の仕方が強い子ども。興奮→ドーパミン→夜泣き。自律神経の切り替えが上手くできない、穏やかに過ごせる生活習慣をつける

親の生活習慣

子どもの気質

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ ママ編

- ・ 子育てで悩んでいるようなことはありますか？

出てくる答え	確認ポイント
<p>子どもが食べない</p> <p>子どもの の気質</p>	<p>○確認ポイント＝食に対する考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親の食への興味。興味が薄く雑に食事を食べている ・ お料理が好きではない ・ 決まった時間に食事をする習慣ではない <p>・ 子どもの食の細さは生まれつき差がある。体の大きな子は食事を食べなくても、間食やジュースなど必ず理由がある。</p>

親の
生活
習慣

子どもの
の気質

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ ママ編

- ・ 子育てで悩んでいるようなことはありますか？

出てくる答え	確認ポイント（親の習慣等の影響）
子どもがいうことを聞かない	自己中心的な習慣の影響
発達が遅い	遅れることへの不安
今後の教育をどうしよう	教育への興味・意識の高さ
パパが協力的ではない	夫婦のコミュニケーション
祖父母との関わりについて	人との関わり方
物を投げる	お手本になる人がいる
お友達をたたく	子どもの話を聞かない

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ ママ編

- ・ どんなお子さんでしょうか？

出てくる答え	確認ポイント
謙遜的	自身の評価が低くないか <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもとのコミュニケーション 不安を埋めるために指示などが多い <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の家族との関わり方 夫が威圧的、一人で抱え込む
プラスが強い	客観性が抜ける。自己投影が強くないか
感情的	「いてくれるだけでかわいいです」 = 夫とのコミュニケーションが少なく不安が出ている ことも

プラス側から言えて、「しかし×××」が良いバランス

具体的なエピソードで過放任か過保護かを見る

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ ママ編

- ・ 集団生活（保育園など）ではどうでしょうか？

出てくる答え	確認ポイント
元気に行っています。あれもこれもやってくれて・・・総論的で手段として考えている	子どもへの関心が高くない 子育ての仲間が作れていないかも
こんなことがあって嬉しかった。こう言ってくれた・・・具体的なエピソードが出てくる	子どもへの関心が高い。社会性を育む場所として集団生活を見ていて仲間が作れている
友達と遊べているか、仲間が作れているかを気にする	そこにこだわりが強い。 ママ自身がどうだったかが出ていることが多いかも

保護者の社会性や子育て仲間が作れているかを見る

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ ママ編

- ・ 集団生活（保育園など）ではどうでしょうか？

出てくる答え	確認ポイント
よく泣いてしまう	問題解決力に乏しい、親のついつい傾向は
手が出てしまう	短気、TV番組や親の対応の影響は
楽しく通っている	柔軟な対応ができる
あまり好きではない	信頼の構築に乏しい、親子の信頼関係が十分ではないかも

子どもの問題も、保護者の影響がないかを確認する

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ ママ編

- ・ ママから見たパパの関わりはどう思いますか？

出てくる答え	確認ポイント
よく遊んでくれる	そこしか関わってくれていないことへの不満
仕事中心で休みの日だけ遊ぶ	
お風呂に入れてくれる	
子どもと上手くいっていない	懐かない・・・パパに懐かせたくないというママの思いがあることも 言う事きかない・・・一緒にいてもコミュニケーションが取れていない

本音は真ん中にくる話に多い

そのことを話している時の表情に出る

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ ママ編

- ・生活リズムはどんな様子でしょうか？

出てくる答え	確認ポイント
リズムが決まっている	規則正しいことにこだわり
決まっていない	子育てへの関心が高くない
朝は時間がなく慌ただしい	タイムスケジュールを立てることが苦手
週末はゆっくり起きる	保護者中心の生活
遅く寝ている	パパの働き方の影響

基本は○寝る時間○起きる時間○食事の時間

生活が整うとエネルギーが整う。自律ルールを伝える

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ ママ編

- ・子育てに関わってくれている人にはどんな人がいらっしゃるでしょうか？

出てくる答え	確認ポイント
夫婦二人	そのことをどう捉えているか
祖父母	相手をどう捉えているか
親戚	相手をどう捉えているか
他人	どんな関係の人か

人との関係は話している時の表情に着目

心の安定のことを伝える

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ ママ編

- ・ 絵本を読んでいますか？

出てくる答え	確認ポイント
よく読んでいる	好きな絵本
時々よんでいる	どんなタイミングでどのくらい
最後まで読めない	読めない理由

出てくる答えは3割増し

どんな絵本が好きかを聞き出てくるか、読むタイミングが生活習慣
の中で決まっているかで現状把握

今後生活の中に取り入れてもらうために可能性を探る



(休憩10分)

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■パパ編

- ・子育てでどんなことをしていますか？

出てくる答え	確認ポイント
週末遊ぶ	深くはない
週末家族のために家事をする 食事・そうじ・洗濯	自分の役割意識があるか 自分からか、ママに言われてか
子どもと2人の時間の楽しい話	子どもとのコミュニケーションが 取れている

今後の親子のコミュニケーションを充実させるためのヒントを探る

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ パパ編

- ・ お休みの日は何をしていますか？ 趣味は何ですか？

ママには
趣味
リラックスの時間
とっておきのお楽しみ
などの聞き方

出てくる答え	確認ポイント
特に決まっていない、ゴロゴロTVを見ている	自分の快動があるかどうか
家族が参加できないもの ゴルフ、サーフィン、飲みに行く、自転車、野球	週末の時間の使い方のバランス ママからどのように言われているか
家族でできるもの キャンプ	どのくらい行っているか ママは楽しんでいるか

自分の快動を意識して行えているか

ママのストレスになっていないか

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ パパ編

- ・ お仕事内容はどんな内容ですか？

ワーキングママには
お仕事内容を
同じように聞きます

出てくる答え	確認ポイント
具体的なお仕事内容	話している時の表情、楽しそうか
時間的な要素（朝早い、夜遅い）	体力的な負担、仕事ではない要素は
マネジメントなどのストレス	
お仕事へのFIT感	異動、転職、職場でのステージなど

現実的な子育てへの関わり方を考えるため

パパの心の一番大きな要素になる仕事について理解をする

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■パパ編

- ・ママとお話しする時間はどのくらいありますか？

出てくる答え	確認ポイント
1日5分	連絡・報告のみになっている
自分の話をする	自分に興味関心が高い
ママの話を聞く	どんな事を聞いているのか

**夫婦として質の高いコミュニケーションが出来ているか
自分のことを話し、相手の話を聞くことが基本**

3. 保護者の状況把握

3-2. 価値観を引き出す質問

■ パパ&ママ編

- ・ どうして結婚したんですか（馴れ初め）？

番外編

1回目ではなかなか聞きにくいことですが
相談回数が進む中で聞くことがあります。

結婚を決めた時は、夫婦がそれぞれの良いところを見ていた
幸せな時期

その時のことを思い出す時間は夫婦の距離が縮まり
思わず笑顔が出る瞬間でもあります

本日のタイムスケジュール



イントロダクション	9:30～ 9:40
1. 事前課題のディスカッション	9:40～10:40
2. 保護者とのコミュニケーション	10:50～12:40
(お昼休憩60分)	
3. 保護者の状況把握	13:40～15:05
4. 家族の関係理解	15:05～16:20
5. まとめ・事後課題・アンケート	

※約1時間に一回休憩があります

4. 家族の関係理解



履修ゴール

子育てを通じたファミリービルディングを行う上で
確認するポイントを知る

○ 7つのパイプを使った子どもを取り巻く家族の関係整理



4. 家族の関係理解

4-1. 家族のことで理解しておきたいこと

事前課題②

家族関係について本を1～2冊を読み、

ファミリービルディングを行う上で大切だと思うことをまとめてください。

※読んだ本の共有もしたいと思いますので、書名・著者・出版社も記述ください。

○事前課題についてグループで共有ください

15分

4. 家族の関係理解

4-1. 家族のことで理解しておきたいこと

ファミリービルディングをしていく上で大切なこと

①両親が親としてどの位機能しているか

親が自律ルールを持ち生活できているか

それぞれの7つのパイプを補い合うことができているか

子どもの状況・徳性と合わせて俯瞰して見ておく

②家族として問題を解決していきたい意志があるのか

夫婦としてお互いを理解し合おうとしているか

Yes → 理解を深めるきっかけづくり

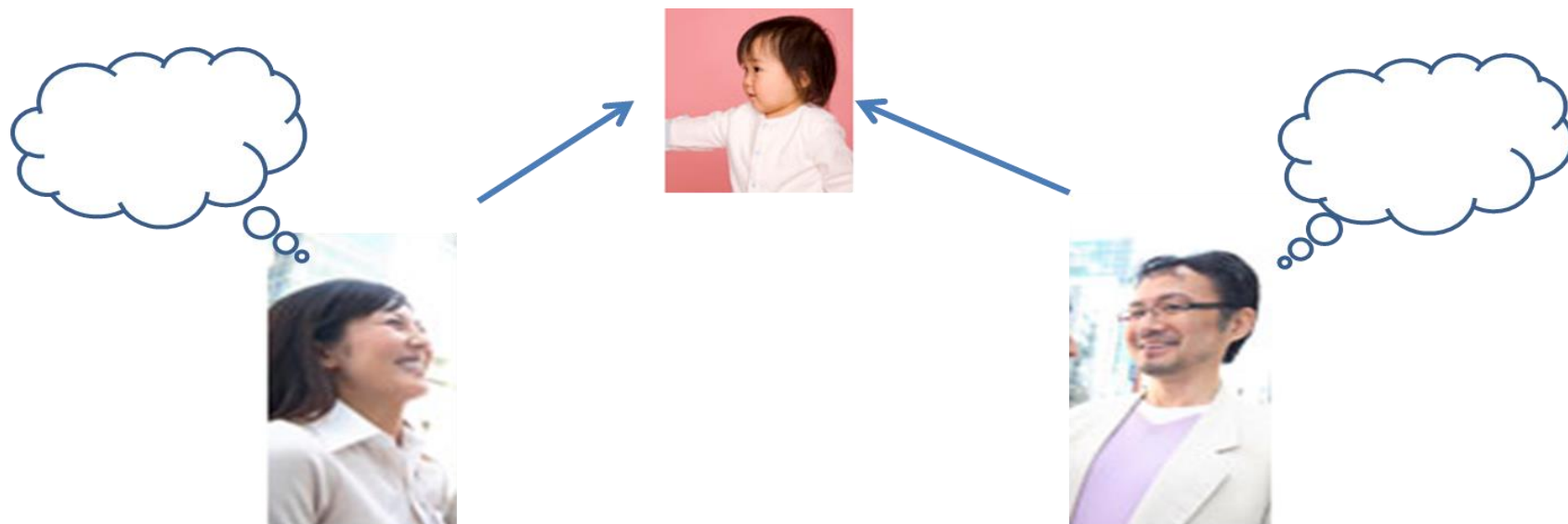
No → 子どもへ与える影響を考え、その環境下で子どもの為にできることをアドバイスしていく

CFCにできるサポートは万能ではない

4. 家族の関係の理解

4-2. 両親が親として機能しているか

■ 両親が機能している状態とは



一緒に子どもを見る

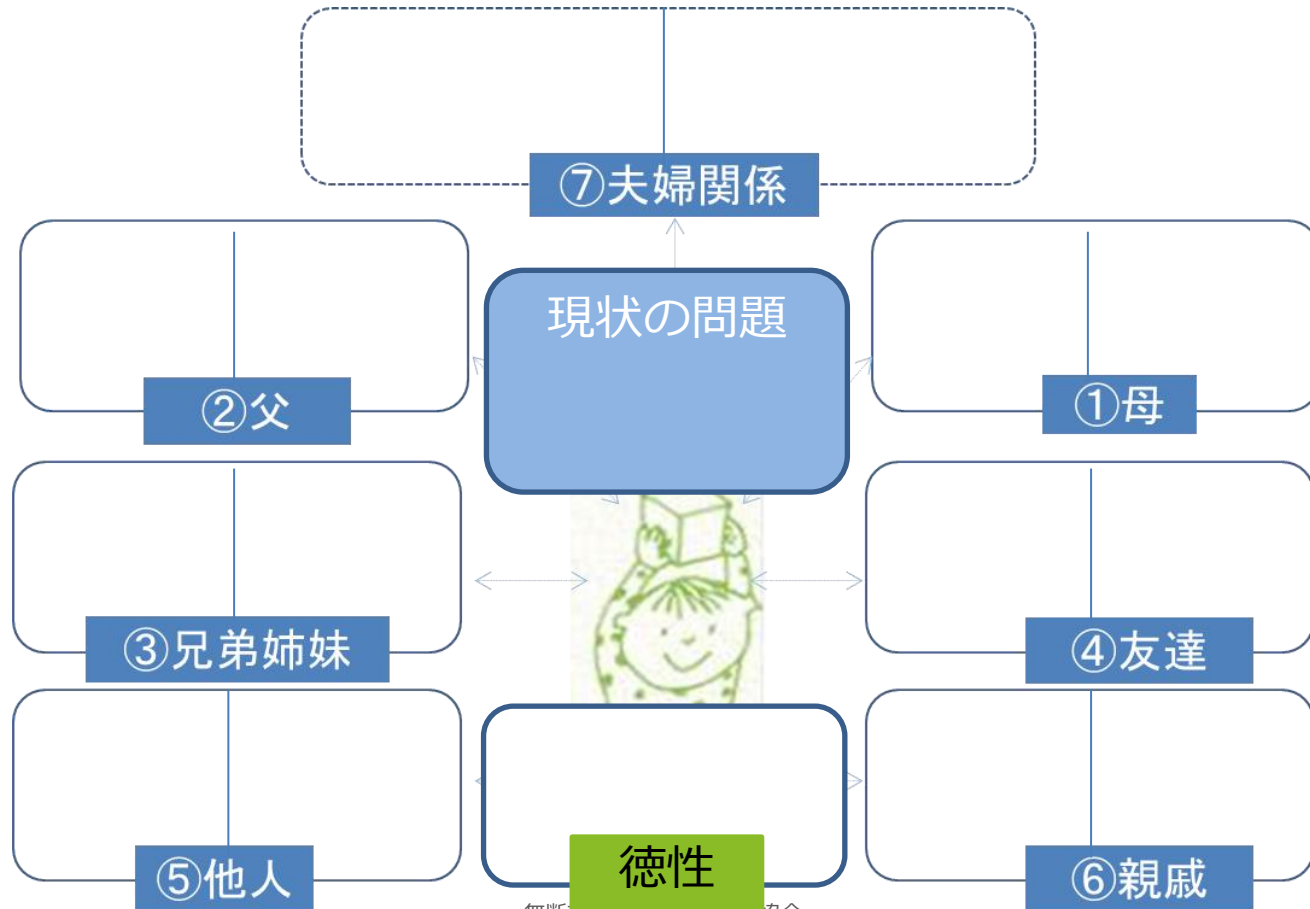
相手の状況（置かれている状況、気にしていること）を想像する

子育てという共通目標のために2人で力を合わせ取り組んでいる状態

4. 家族の関係理解

4-2. 両親が親として機能しているか

- 7つのパイプを使った現状整理
把握した情報を7つのパイプに合わせ整理する



4. 家族の関係理解

4-2. 両親が親として機能しているか

- 7つのパイプを使った現状整理
把握した情報を7つのパイプに合わせ整理する



注意点

必ず「事実」と「感じたこと」は分けておく = 思い込を避ける
大切なこと

俯瞰して見るために情報全体を見れるように整理する





(休憩10分)

4. 家族の関係理解

4-2. 両親が親として機能しているか

■ 家族の見取り図

家
家族の関係見取り図

■ 家族の状態

■ シークレットウォンツ

両親の真意の仮説

追加メモ

月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日
月 日

■ その他 になったこと

得た情報を俯瞰して見られるように整理

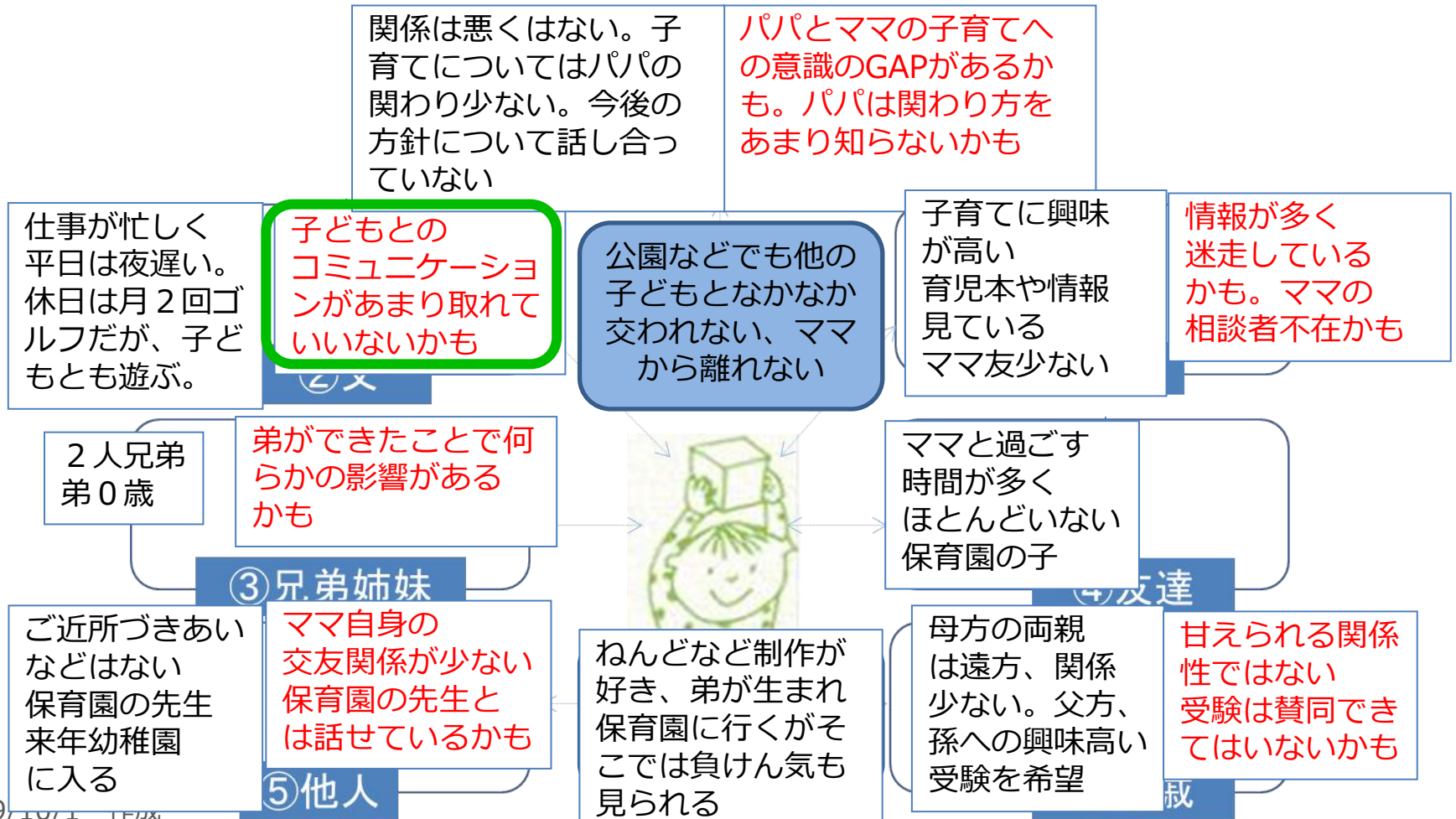
その他気になったこと

追加で分かったことを記入

4. 家族の関係理解

4-2. 両親が親として機能しているか

■ 7つのパイプの現状整理の例 ← ■ 事実 ■ 感じた仮説 を必ず分けて扱う



4. 家族の関係理解

4-2. 両親が親として機能しているか

■かもの法則

「かも」をたくさん集めること = 相談者へのイメージング

キーワード 「広く」「高く」「深く」

- 広く = あらゆる可能性を考えてみる
- 高く = 客観的な視野で少し引いて考えてみる
- 深く = 背景や置かれた状況を考えてみる

相談者の「かも」をたくさん考えることは、
夫婦と子どもを「愛でる」ことに繋がる
⇒ 相手を動かすエネルギーに繋がる

4. 家族の関係理解

4-3. 家族として問題解決をしていく姿勢があるか

■ 家族として問題を解決して行くということ

子どものよりよい成長について両親力を合わせ考え行動していくこと

姿勢がある	姿勢がない
子どもの問題に2人で協力しながら対応して行く姿勢がある	片親のみ問題意識を持っている 他方には問題意識がない
EX) ・子育て相談に2人で来る ・課題意識を共有することができる ・課題に両親それぞれが取り組む	EX) ・ママのみで相談 ・2人で相談に来ても、協力的ではない

姿勢がない場合は、パパ、ママ別に面談を行いそれぞれの気持ちや考えをつないでいく

4. 家族の関係理解

4-4. 夫婦としてお互いを理解し合おうとしているか

■夫婦としてお互いを理解し合うということ

お互いの気持ちや望んでいることに興味を持ち、夫婦の違いを楽しみ受け入れていくこと

理解し合おうとしている	理解し合おうとしていない
夫婦としての絆を更に深めたいと思っている	あきらめている 夫婦の関係解消を考えている

理解し合おうとしていない場合は、そんな中でも子どもができるだけよい成長ができるようにアドバイスしていく

本日のタイムスケジュール



イントロダクション	9:30～ 9:40
1. 事前課題のディスカッション	9:40～10:40
2. 保護者とのコミュニケーション	10:50～12:40
(お昼休憩60分)	
3. 保護者の状況把握	13:40～15:05
4. 家族の関係理解	15:05～16:20
5. まとめ・事後課題・アンケート	

※約1時間に一回休憩があります



<振り返り①> 本日のまとめ

5 - 1. 本日のキーワード

1. 保護者との コミュニケーション

保護者との信頼関係を築くための
コミュニケーションについて理解する

2. 保護者の状況把握

保護者へのヒアリングの観点とポイント
について理解する

3. 家族の関係理解

子育てを通じたファミリービルディングを
行う上で確認するポイントを知る



<振り返り②> 事後課題

5-2. 事後課題

子どものことで相談してきたパパ・ママにはどんな真意があるのか、シークレットウォンツについて考えられるものを背景や理由などの考察も添えてできるだけ多く書き出してみてください。

次回ディスカッションを行いたいと思います。

相談内容	考えられるシークレットウォンツをできるだけ多く想像してみましょう。
子どもがいうことを聞かない	
発達が遅い	
今後の教育をどうしよう	
パパが協力的ではない	
祖父母との関わりについて	
物を投げる	
お友達をたたく	

事前課題

事前課題

ご自身の人に与える印象やコミュニケーションについて振り返りをしてみてください。

ここは子育て相談の時に注意した方が良かったと思ったポイントは矢印⇒で具体的にどのように意識していくかを記入してください。

観点	振り返り
頭 思考特性として気をつけたいこと (自己理解参照)	
顔 ・表情は豊か ・笑顔が多いか	
目 ・視線の置き方 ・人を見る時に思わず見てしまうもの。	
耳 ・相手に興味を持ち最後まで聞く ・自分が聞きたくない言葉を聞いた時	
鼻 ・直観は働くか ・真意を考えることは得意か	
口 ・ネガティブな表現 ・声の大きさ、声の質	
体 ・姿勢 ・服装はどんな印象を与えるか	
手 ・身振り手振り ・字はきれいか	
足 ・足を組むくせ ・フットワーク軽い	
その他、自身が気になるところ	



おつかれさまでした

- 次回は 1 / 13 (土) です
- またお会いできることを

楽しみにしております

アンケートのご記入をお願いします



- * 提出方法 *
- ・スクショ写真
 - ・PDF化したもの
- メールに添付

本日の事前課題をメールにてご提出下さい

- To : info@kosodategaku.jp
- 件名 : アドバンス課題 (フルネーム)